

# 胎児に影響する感染症

## 県感染症情報センター

### 声なき感染症を知る

◆25◆

前回(4月14日付)

の「ジカウイルス感染症(ジカ熱)」に続き、今回も妊娠中に気をつけたい感染症についてお話しします。

平成25年に風しんが大流行したことは、記憶に新しいと思います。風しんは、「三日ばしか」とも呼ばれ、麻疹(はしか)の軽いもの程度に思っておられる方も多いかもしれませんが、妊娠が風しんに

感染すると、生まれてくる子どもに障がいが出るため、大きな社会問題となりました。

▽妊婦の免疫力と胎児への感染  
妊娠中は、「異なる個体」である赤ちゃん(胎児)を宿すことにな

ります。普通は、異なる個体に対しては拒絶反応を起しますが、妊娠を継続させるため、妊婦は免疫力が低下しています。免疫力が低

下するため、いろいろな感染症にかかりやすく、また重症化しやすくなっています。さらに、妊婦が感染症にかかると、妊婦から胎児へ胎児感染するわけではありま

せん。免疫が低下しているとはいえ、妊婦の免疫により胎児への感染を抑えているものがほとんどです。ただ、「妊婦が初めて(その意識の高まりにより、

軽症で、感染したことでも分からないうちに免疫を獲得しているものも多く、昔は子どものころにいろいろと感染していました。

▽妊娠中および妊娠前の備え  
妊婦健康診査(妊婦検診)にも、感染症に関する検査項目があります。妊婦が感染して

いないか(HTLV-I、B型肝炎、C型肝炎、HIVなどの性感染症、B群溶血性レンサ球菌)、妊婦は十分に

## ワクチン接種と予防

## 積極的な対策が必要

する時期により、胎児感染(おなかにいるとき)と、産道感染(生まれてくるとき)に感染)があり、今回は胎児感染についてお話ししていきます。

▽生活環境の変化と感染症  
すべての感染症が、

子どもが感染しても、子どもが感染しても、

感染しないまま大人にならなければならないか(風しん)等を調べるためのものです。

さらに、妊婦検診の検査項目にはない、気をつけなければいけない

(県感染症情報センター) 第2木曜日掲載 ※参考文献 先天性トキソプラズマ&サイトメガロウイルス感染症患者会「トーチの会」のホームページ (http://toxocm.org/index.html)

妊娠中に問題となる感染症

疾患名

疾患名	影響	予防方法
風しん	胎児 (障がい)	◆抗体価の確認 ◆抗体が無い・抗体価が低い人は、妊娠していない時期にワクチン接種が重要
麻疹(はしか) 水痘(みずぼうそう)	母体(重症化) 胎児(流産・死亡)	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	胎児(流産)	◆頻繁に手を洗う、子供の食べ残しを食べない ◆子供との口づけは避ける、おむつ交換後は手洗い励行
サイトメガロウイルス感染症	胎児(障がい)	
トキソプラズマ(原虫)	胎児(障がい・死亡)	◆加熱不足の肉を食べない ◆猫には近づかない、飼い猫は外には出さない ◆猫が初めてトキソプラズマに感染すると病原体を多く排泄します。 ◆猫のトイレとなる公園の砂場などの土にも注意が必要です。

〈参考〉横浜市感染症情報センター「健康な妊娠・出産のために注意したい感染症について」  
http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/idsc/disease/ninshin1.html